

こころが、家庭が、毎日がほっと温かく元気になる。そんな寺報を目指します！

正教寺

2014年
創刊号

お寺の使命

仏教や内観法のメソッドをベースに「ありがとう」「ごめんなさい」が素直に言える心を、子どもにもわかるように楽しく実践的にお伝えします。

あなたの心が、家庭が、毎日の暮らしがほっと温かくなるように。

子どもたちが困難にぶつかってもくじけない心を育むように。

そして、大切な亡き人と語り、じっくりと自分を見つめたくなる場づくりを目指します。

発行：浄土真宗単立 霊城山 正教寺

ホームページ syoukyouji [\[検索\]](#)

〒640-0332 和歌山市冬野1045 TEL 073-479-1871 / FAX 050-7100-0016 / info@syoukyouji.com

明信和尚の一言法話

「なんまんだぶ」

「新年のご挨拶」

新年明けましておめでとうございます。



一年の計は元旦にありといわれますが、
昨年は皆様にとつてどんな年でしたか？
皆様は色々の思いで新年を迎えられたこと
とでしょう。

さて、流行語大賞に、倍返し（本来の
意味は、ご恩や頂き物に倍のお返しをする。
）が決まりました。私たちは、自分の
思い通り（その時の気分次第）にならな
いと、心の中にわだかまりを抱きます。
そのわだかまりが自分にとって大きけれ

ば、いつか倍返しをと思ひ、自分自身で
苦しみます。もし、倍返ししたらどうで
しょう、次は自分が倍返しされると四倍
になって返ってきます。

このことは、お釈迦様は、生の苦しみと、
お示しくださっております。私たちは
そのとき、そのときの心の持ち方、気分
次第で、喜怒哀楽に受けとつていきます。
すなわち、六道輪廻（天上、人間、修羅、
畜生、餓鬼、地獄）と仏法にお示しくださっ
ています。

日常生活において、自分の尺度で持つ
て、物事を判断し、点数をつけていきます。
阿弥陀如来様は、どうでしょうか。生け
るもの、すべて点数をつけることなく平
等に慈悲のお心で、苦しむ私たちをお救
い下さっております。

お一人、お一人が阿弥陀如来様のお心
をいただけますよう、御同行、御同朋の
一人として願っております。

阿弥陀如来様のお心を、あなたはいつ
頂きますか？ 今でしょう！

特集「こんなお寺を目指します！」

100年

続きますように

藤浪 明覚

寺報を創刊します。お寺に関わってこれているみなさんに、楽しみながらお寺の今を知ってもらいたいから。楽しみながら仏教に触れて、毎日の生活をあつたかいものにしてもらいたいから。

正教寺の歴史は約450年。歴代の先輩方の想いがお寺を維持してきました。お寺にたくさん人が来てくれる。仏教に触れて



髭白長四郎翁



由良浅次郎翁

幸せになつていただく。それが、お寺を応援してくれる檀家さん、地域のみなさんの功徳につながります。一緒に願いましょう。100年後も正

教寺がイキイキと元気なお寺でありますように。仏教に触れて幸せになるために日本中からたくさんの方がお参りしてくれのお寺でありますように。

今年はお寺の再建や維持に大きな功績を残してくださった方を偲んで記念法要を行いたいと思っています。由良浅次郎翁の50回忌、髭白長四郎翁の25回忌。そのほかにも多くの先輩方がご苦勞をくださっています。

昭和の時代にこのお寺を存続させるため頑張ってくださいとお二人をはじめ諸先輩方に感謝の気持ちを贈りましょう。そして平成の時代にお寺と一緒に遣していきましよう。応援を宜しくお願いします！

あの人に聞きたい

私と仏教とお寺

西原 房子

私こと、冬野に世話になって六十五年になりました。見ず知らず、勝手知らないことばかりで淋しい日々を送って居るところへ、院主さん一家がお寺へ来てくれ賑や

かになり、和子さんと厚子さんが居てくれ、和子さんのことはいまだにお姉ちゃんお姉ちゃんとお達家族全員が呼ばせてもらっています。

院主さんが寺へ来られた正月より、一緒に餅つきや味噌つきを、姉妹のように一緒に同じ物を作って、食べて、親しく付き合ってくれました。正月を迎える度に良い思い出となり、なつかしく思い出しています。二人の娘も嫁いで淋しくなった正月のこと、「由良の白崎海岸へ行くか」と言うことで、二人では味気ないので、叔父さん院主さんお二人を誘いに行くと「今からどこかへ行きたいなと言っていたところや。連れて行ってくれるか」と言われ、四人で白崎へ行きました。

大きな岩で四方一面が真っ白。「今にも白熊が出そうやなあ。」とため息をつき、楽しい正月の思い出となりました。

正月の思い出は沢山ありますが、お寺の班の婦人会で、一品ずつ持ち寄つての忘年会、毎年のようにお寺で賑やかにさせて貰えて良い思い出ばかりです。

この年になり、色々思い出しては楽しんでいきます。子犬の様に後先の無い書き方で失礼致します。

坊守見習い45年

お寺の

歴史

藤浪 和子



正教寺の歴史は大層古いものではありませんが、私の知る限りの中で、赤坂恵龍（えりょう）かん師の事から始めます。恵龍師は香川県出身で、紀州藩主の勉強指南役として招聘されて和歌山に來られ、夫人は阿波のお姫様であったそうです。

正教寺に、故郷を懐しんで四国の形の池を作られました。

因みに池は、故郷の香川が本堂に近く見えるよう、地図とは逆向きになっています。

その息子芳龍（ほうりょう）師は明治時代の高等学校の先生をされました。次が芳龍師の息子の恵龍（えりょう）師になります。芳龍



赤坂恵龍：左から2人目

師も他府県で活躍されましたが、恵龍師もアメリカに留学されたり、和歌山市内で弁護士をされたりして、正教寺ご住職はほぼ名前だけだったようです。

お二人共、とても勉強に秀でた方でしたので、収入源のない冬野では活躍の場を得られなかったのはやむを得ぬ事であったと思います。お二人共、信仰の厚い人でした。

その後、長く無住となつて荒れていた正教寺に、母・裕子（赤坂恵龍の長女）が入ることになるのですが、その荒れ果てた寺を再建して下さったのが、由良浅次郎氏です。

この方は芳龍師の娘きみさんの夫であり、恵龍師に大いに薫陶を受けて各方面に私財を投じて公共の建物を作られた方です。それが正教寺の荒れ果てた姿を見て、恵龍師につらなる場所なのにと、山門で号泣されたそうです。

さて、母・裕子が正教寺に入るいきさつと、その後の話はまた次の回でお話ししたいと思います。

・正教寺は由良浅次郎氏の菩提寺ではありませんが、寺内にお墓がございます。

連載

「いまさら聞けない!?!」

お参りの作法

藤浪 明覚



このコーナーでは、いまさらちよつと聞きにくい、お参りの基礎を簡単にお伝えします。宗派によつていろいろあるのですが、自分たちの宗派の作法をしっかりと覚えておいてください。

第一回は焼香の仕方です。

尊い方にご挨拶する際に自分の体臭を消し、敬いの気持ちを表したのが始まりと言われています。よく使う仏教の作法ですよ。みなさんはどんなふうにお焼香していますか？

お葬式でよく見かけるのが、ちよつとつまんでおでこに押し戴く作法。一回だつたり三回だつたりいろいろです。仏教でポピュラーな作法です。けれど、浄土真宗はちよつと違つて結構シンプルです。

1. 焼香台の前で一礼します。
2. お香をつつまみし、そのままお香炉に落とします。

3. 念誦を持って合掌礼拝します。

4. 一歩下がつて一礼します。

シンプルでしょう？

本来の意味を考えると、納得ですよ。お彼岸のお勤めの時にはぜひやってみてください。

連載

生活や仕事に役立つ仏教講座

「仏教に触れて一緒にカッコいい大人を目指しませんか？」

藤浪 明覚

「仏教ってお葬式や法事の為にあるんでしょ。」僕らの日常に全然関係ないよね。」そんな風に思っている人、きつといっぱいいますよね。それは、僕たちお坊さんの力不足。最初に謝ります。ごめんなさい。

本当は、今生きている私たちが幸せになる為の教えや身につけるための方法が満載なんです。仏教の教えを学んで「あの大人だなあ、カッコいいなあ。」と言われるような大人と一緒に目指しませんか？

仏教で一番カッコいい人は誰でしょう？もちろん、お釈迦様ですよ。苦しい修行の末に悟った生き方や考え方や体験が多くの人共感を呼びました。立派な弟子がたくさん現れて、お釈迦様の教えをそれぞれの受け止め方で伝えてきました。2500年経った今も世界中にファンがいてそ

の教えに魅了されています。例えば、稲盛和夫さん。誰でも知っている偉大な経営者の一人です。稲盛さんはお釈迦様の教えから学んだことを経営に生かして桁違いの業績を上げています。そして稲盛さんに憧れ、生き方や考え方を学んでいる経営者やビジネスマンも数万人を下りません。仏教のファンにはこんなすごい人が大勢います。きら星のごとく輝く人たちが惹きつけられる仏教ってどんな教えなんだろう？尊敬されるお釈迦様ってどんな人なんだろう？すごい弟子たちってどんな人なんだろう？興味が湧きませんか？

毎日の仕事や生活に生かして、大人としてステップアップできるような、そんな仏教と一緒に学びましょう。



僧侶姿の稲盛和夫氏

安原最新情報！

「しみせ」って知っていますか？安原小学校の隣の風神商店。文房具や駄菓子も売っているお店です。小学校の頃、登下校の時に用もないのに寄っていた思い出があります。子どもに人気のお店でした。

どうして「しみせ」っていうのか知っています方いますか？お店のおじさんに聞いてみました。お店は90年ほどたっていて、今のおばちゃんも3代目。昔はお店が珍しく新しい店という意味で「新店(しみせ)」と言われていたのがなまったのかなあというのが、地域の定説だそうです。はつきりしたことはお店のおじさんもわからないらしい。子どもたちによく売れている文房具は、匂いのする「ネリ消しゴム」。お菓子は当たりものが人気だとか。

最近車での送り迎えが多く、学校前の道路が混雑するので、交通整理をしたり、下校の時のお迎え待ちの子どもを店で待たせてあげたりと地域の子どもを見守ってくれているようです。



子どもに人気のねりけし

連載

ちょっと精進？

ちょっとオーガニック？な簡単レシピ♪

藤浪 敬子

今回は、お正月に食べきれずに残った美味しい黒豆とお餅を使ってレンジで簡単に作る大福もちです。黒豆はタンパク質・植物性脂肪・食物繊維・ミネラル・ビタミンなどがバランスよく含まれています。イソフラボンを含み、更年期の症状を和らげ、カルシウムを逃がさず骨の健康を守る働きの上、高血圧・肥満などの予防にも効果があるといわれています。10分で出来上がりますので、ぜひ作って見て下さい。

「リメイク！ レンジでカンタン黒豆あん大福」

●材料 4個分

黒豆煮	大さじ4
黒すりごま	大さじ1
餅	3コ
水	大さじ2
砂糖	大さじ1
片栗粉	適量



レンジでカンタン黒豆あん大福

●作り方

- ①黒豆と黒すりごまを容器に入れ、スプーンで粗くつぶしながら混ぜ合わせる。
- ②①で混ぜ合わせたものを4つに分け、丸める。
- ③耐熱容器に、餅・水・さとうを入れ、ラップをふんわりとかけ、500Wで2分加熱し、丈夫なスプーンでかき混ぜ柔らかい餅にし、4等分する。
- ④片栗粉をつけながら、③の餅をひろげ丸めておいた黒豆あんを包み、できあがり。

ポイント!! お餅に砂糖を加えることで、固くなるのを防ぎます。

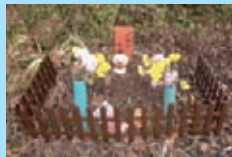
★編集部では冬野のナウな情報を募集しています。孫が生まれた、子どもが結婚したとか身近な情報を是非教えてください。

ね。
・吉田さんのところにイノシシよけを設置しました。触れると感電するすごい柵です。皆さんお困りの方が多いと思いますが、うまくいくのか気になりますね。



いのしし除け

・墓を作ったところへお立ち寄りの際はお参りしてあげてくださいね。



わんちゃんの御墓

冬野最新情報！

僕たちが子どもの頃は先代のおばちゃんにずいぶんお世話になりましたが、今もかわっていないですね。人知れず地域のことを見守ってくれる人ってありがたいですね。

★安原の心温まる情報を是非教えてください★

イベント報告

こんなことがありました♪

1月 修正会
竹子会新年会

3月 春のお彼岸
いのち大切シンポジウム

(於和歌山ビッグ愛)
主催は心のSOSサポートネット。日赤和歌山の東精神科部長が理事長。当寺の副任職が副理事。

4月 永代経

(ヨーガ療法士 岡良夫先生に講師をお願いし、呼吸や体を動かして心と体の健康を保つ方法を楽しく教えていただきました。)

花まつり (まゆーら文庫)

5月 日本内観研修所協会

(於紀三井寺はやし) 5月18日〜19日の2日間。日本全国の内観研修所所長が集まり交流もかねて研修会を開催。和歌山内観研修所が事務局をさせて頂きました。

6月 日本内観学会和歌山大会

(於和歌山ビッグ愛) 6月21日〜23日の3日間。海外4か国、日本全国から約450人に参加いただき内観法による研究発表や講演会が開かれました。和歌山内観研修所が事務局をさせて頂きました。

8月 そーめん流し

(若月会のお母さん方がまゆーら文庫の子供たちに開催してくれました。)

孟蘭盆会

9月

秋のお彼岸
いのち大切キャンペーン

(於県民文化会館小ホール)

新しくなった県民文化会館でいのちの大切さについて考えるイベントを開催しました。主催は心のSOSサポートネット。日赤和歌山の東精神科部長が理事長。当寺の副任職が副理事。テレビでおなじみの坂本薫先生、和歌山在住のボクシング世界チャンピオン真道ゴースさんの講演、ご当地芸人すみたにの漫才、アロエルト、QJFのライブ等



5月 研修所協会



4月 花祭り



4月 永代経



3月 春のお彼岸



1月 修正会



9月
いのち大切キャンペーン



8月 孟蘭盆会



8月 流しソーマン



6月 内観学会



6月 内観学会スタッフ

盛りだくさんでした。300人に参加
いただき盛大に開催されました。

10月 庭木剪定

毎年綺麗にして頂いてありがとうございます！

前任職の白寿

(於華月殿) まゆーら文庫、月曜会、若月会、如月会の皆さんにお祝いだきまわしい手作りプレゼントをたくさんいただきました。ありがとうございました。



11月 オレンジリボンフェスタ協賛

子どもの虐待防止週間に合わせたオレンジリボン運動に協賛しました。

報恩講

大阪から元ロックギタリストのお坊さん藤岡延樹先生に法話とミニコンサートを開いていただきました。熱いギターと歌が楽しかったですね。お話もありがたく伝わってきたと、ご好評を頂きました。

前任職の白寿

檀家の皆さん、班の皆さんにお祝い頂きました。総代の髭白さんがギターに手品に大活躍、楽しいひと時を過ごさせて頂きました。ありがとうございます。

した。

ナトベネイチャー第一回イベント

育児ママの支援活動として動き始めた団体です。地域の活性化なんかも取り組んでいきます。まゆーらに来てくれていた子のお父さんお母さんや地域の経営者さん、当寺の副住職が立ち上げに参加しています。

12月 成道会

まゆーら文庫の子供たちを中心にお釈迦様が悟りを開かれたお祝いの法要をしました。芝さんの絵本読み聞かせ、ブルネイからこられたお客様と交流の後、みんなでおしるこを頂きました。

ブルネイからのホームステイ

仁坂知事が外務省時代にブルネイの大使を務められていたことから、ブルネイとの友好の一環でホームステイを受け入れていきます。今年は王立のハイスクールから先生お二人と生徒七人が和歌山に来られました。田原学園の田原サヨ子理事長先生がコーディネートされ皆さんをお世話されました。当寺は浅井周英先生とご縁から田原先生と懇意にしていたらいており、今回ブルネイの先生お二人の受け入れのご依頼がありました。それぞれ、キリスト教、イスラム教の方々でしたが、お寺の雰囲気をとて喜んでくださり是非もう一度来たいと言ってお帰りに



11月
オレンジリボンフェスタ



10月 庭木剪定



10月
前任職白寿 まゆーら



9月 秋のお彼岸



12月 成道会



12月
ブルネイのお客様



11月 報恩講



11月
前任職白寿 檀家の皆様

なりました。450年お寺を支えてこられた皆さんの想いがお寺の雰囲気として外国の方にも伝わったのだと思います。

イベント告知

楽しいイベント案内♪

仏教の心、ありがとうとこめんなさいを素直に言える心をお伝えするために、
いろいろな講座を企画しています。

●お寺の法要

1月1日 修正会

新年に当り去年の無事を阿弥陀如来様、ご先祖様の功德に感謝申し上げると共に、今年も阿弥陀様の御本願信じ報恩謝徳の日々を送ることをお誓いするお勤めです。ご家族でお参り下さい。

3月21日(金) 13時 春のお彼岸

彼岸とは悟りの世界、即ち極楽浄土のことです。この彼岸に対する言葉を此岸(しがん)といいます。迷いの世界(五濁悪世)ことです。お浄土に往生されたご先祖を偲び、阿弥陀様のお徳とお浄土を讃えるお勤めです。西本願寺では仏教週間として、春と秋の中日をはさんで一週間お勤めをしています。当寺では、春と秋の中日のみお勤めをしています。家族でお墓参りと共に、お勤めするようにしましょう。

4月13日(日) 14時 永代経

一般に永代経といわれていますが永代経というお経はありません。永代にわたってお経をお勤めすることです。お勤め後、ご

講師による講和があります。永代法要は亡きご先祖を偲び、永代までお念仏をつたえていくための法要です。永代経懇志は亡きご先祖や上げて下さった方々の功德となるよう、念仏の場所であるお寺の維持、仏具の購入、教化に当てさせて頂いています。

4月19日(土) 11時 花まつり

お釈迦様像に甘茶をかけてお誕生日をお祝いする会です。子どもがたくさん来ます。お花一輪を持ってきてください。お昼は子どもたちと一緒にカレーを頂きます。ご希望の方はご自分の食べるご飯だけお持ちください。

8月15日(金) 盂蘭盆会 9時

9月23日(火) 秋のお彼岸 13時

11月9日(日) 報恩講 14時

★日程未定「由良浅次郎翁、髭白長四郎翁、お寺を支えた諸先輩方を偲んで」

●水曜茶論

(お寺でお茶を飲みながら気楽に語り合う)

会。どなたでも参加いただけます。

第三水曜 13時~15時

1月15日、2月19日、3月19日、4月6日、5月21日、6月18日、7月16日

会費 無料

●月曜会

(仏教を味わう会。概ね60才の方が参加)
第一日曜翌日の月曜日 10時~12時

1月6日、2月3日、3月3日、4月7日、5月5日、6月2日、7月7日

会費 無料

●若月会

(仏教を味わう会。概ね40才前後の方が参加)
第三日曜の週の火曜日 10時~12時

1月21日、2月18日、3月18日、4月22日、5月20日、6月17日、7月22日

会費 無料

●作務に学ぶ会

(勤行と作務を通して仏教に触れる会。どなたでも参加いただけます。親子でどうぞ)

第四日曜 8時~9時

1月26日、2月23日、

3月23日、4月27日、

5月25日、6月22日、

7月27日



作務に学ぶ会

●まゆーら文庫

(小学生までの子供とそのお母さんが参加)

第一、第三、第五土曜
14時～16時30分

1月18日、2月1日、
2月15日、3月1日、
3月15日、4月19日、
5月17日、5月31日、
6月7日、6月21日、7月5日、7月19日

会費 無料



まゆーら文庫

4月19日 11時～ 花まつり
お花一輪、自分が食べるご飯を持ってきて下さい。カレーをたくさん作ってお待ちしております。

会費 無料

●如月会

(わかやま新報のコラムでもおなじみ村田溥積先生の法律・古典の面白講座)

第三金曜 13時～15時

1月17日、2月21日、3月21日、4月18日、5月16日、6月20日、7月18日

会費千円



如月会

●イキイキ健康ヨーガ教室

(ヨーガ療法士・藤原加津子先生による)

ヨーガ教室。簡単な呼吸法やポーズで誰でも楽しく健康に。不特定多数の方が参加)

第一火曜 10時～11時30分

1月7日、2月4日、3月4日、4月1日、5月6日、6月3日、7月1日

会費 七百元



ヨガ教室

●竹子会

(内観法を通じて日常生活を味わう会。不特定多数の方が参加)

奇数月の第四日曜 13時～15時

3月23日、5月25日

会費 五百円

7月27日 9時～12時(掃除の会・昼食会)



竹子会

●竹子会半日内観体験コース

(竹子会例会の午前中に開催。どなたでも参加いただけます。)

奇数月の第四日曜 9時～12時

3月23日、5月25日

会費 五百円

●心のSOSサポートネット

(自殺予防活動。誰にも相談できず苦しんでいる方にちよつと・声掛けする活動。苦

しんでいる人の役に立ちたい方が参加)

第2回心の安全パトロール隊員養成講座

アドバンスコース

和歌山ビッグ愛

申込必要 テキスト代千円

1月11日 13時～

第14回心の安全パトロール

隊養成講座

和歌山ビッグ愛1201

テキスト代千円

3月8日 13時～

第3回いのち♥大切シンポジウム

和歌山ビッグ愛大ホール

3月9日 13時～



心のSOSサポートネット

●ナトベネイチャー

(子育てママがスキルアップで働く場を創造したりする応援、育児相談、地域活性について考える会。子育てママやスキルアップ講師としてボランティアしてくださる方、一緒に活動したい方を募集中です。)

書籍紹介

心があつたまる本を紹介します。

「ガンが病気じゃなくなったとき」

岩崎順子 青海社 1680円

ガンに出会った朝蔵、漁次、落子の子らのいる家族。ガンが贈り物に思える日、思えない日をありのままに綴る。この世で一番大切なものとは？ 静かに問いかける書。



「いい言葉は、いい人生をつくる」

ラストメッセージ

斎藤茂太 成美堂出版 550円

歌人斎藤茂吉さんのご長男、茂太先生が収集した元気が出るいい言葉の数々を収録したラストメッセージ。いい言葉に触れる続けることで、人生が変わるんですよ。ほんと



です。だから毎日意味をかみしめながら、お経をあげて下さいね。

「み・ち」

和歌山発の生き方や心を考える季刊誌

オフィスコカワ 500円

お医者さんの坂口健太郎先生や講演家の岩崎順子さんなど、和歌山で活躍している方々が生き方やほっと心温まるエピソードについて書かれていて盛りだくさんな内容です。当寺の副住職も寄稿しています。WAYや宮脇書店でお求め頂けます。



募集

正教寺の檀家になりたい。お仏壇はないけど毎月お参りしてほしい。寺報の配布やイベントの手伝いなど応援するよ。そんな皆様を募集しています。メール、Facebook、電話でお気軽にご連絡ください。

編集後記

念願の寺報を創刊することが出来ました。皆さんご協力ありがとうございました。皆さんご協力ありがとうございました。次回の発行は7月の予定です。今年年2回発行し、来年からは年4回の発行を目指します。

ホームページは7年ぐらい前から公開し、お寺のいろいろな情報を発信してきました。おかげ様で毎日70人ぐらいの方がホームページを訪れて下さっているようです。ホームページを見ることが出来る方にはお寺の活動の全体像や想いが見て頂けるのですが、お寺にお参りや遊びに来てくれる皆さんにまとめてお伝えすることが出来ていませんでした。

お寺を最大限に活かした場所にする。これから先もずっと続く場所にする。僕たちが取り組まなければならぬ大事な仕事だと思っっています。その手始めがこの寺報です。

よりよい寺報にしていきたいので、ぜひご感想をお聞かせください。これからもよろしく願います！